

Builderが生成したCPackConfig.cmakeを使ってdeb/rpmパッケージを生成できるようにする

2015/05/14 10:57 - n.kawauchi

ステータス:	終了	開始日:	2015/05/14
優先度:	通常	期日:	
担当者:		進捗率:	100%
カテゴリ:		予定工数:	0.00時間
対象バージョン:			

説明

- Builderで生成したコンポーネントをLinux環境で、cmake, make後、cpack -C CPackConfig.cmake を実行するとtar.Z, sh, tar.gz の3種類のファイルが生成される
- これを、deb/rpm パッケージを作成できるようにする
- OpenCVサンプルコンポーネント群のImageProcessingは手動で修正してdeb/rpmパッケージを作成できるようにしている。詳細は以下を参照
[CMakeでのDEB/RPMパッケージ作成手順](#)
- 上記の修正では、deb/rpm のパッケージ作成切替は、コンポーネント直下のCMakeLists.txtで指定しているので、外から切替えられる仕組みが欲しい

set(LINUX_PACKAGE_GENERATOR "DEB")
#set(LINUX_PACKAGE_GENERATOR "RPM")

- 上記の修正ではdebファイル名に大文字が含まれてしまう（例：Flip-1.1.0.deb）ので全て小文字にする

履歴

- #1 - 2015/07/10 23:37 - n-ando
- ステータス を 新規 から 終了 に変更

- 進捗率 を 0 から 100 に変更